


2018年3月期 決算説明資料

2018年5月11日



カッパ・クリエイト株式会社

(東証1部 7421)

 かっぱ寿司

免責事項

本資料は、当社グループについての一般的な情報提供を目的としており、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、外食産業の市場動向、消費者の嗜好の変化、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。



2018年3月期 トピックス



商品力の強化及びサービスレベルの向上

■ グランドメニューのブラッシュアップ

- 季節に応じた入替によるメニュー鮮度の向上
- 共通食材を活用したラインナップの充実

■ フェアメニューの改良・充実

- グループも含めた独自の仕入ルートによる多様な食材の調達
- リピーター様の満足度向上

■ 良質な食材を商品価値として具現化

- メニュー設計段階から再現性を重視
- 全ての仕込・調理段階のマニュアル見直しによるクオリティの向上

■ ご案内方法・提供時間の短縮

- お客様の不満足要因の撲滅推進
- 売上機会ロスの極小化



顧客コミュニケーションの充実

■ ブランディングを目的としたテレビCM

- 本格派俳優の起用により、品質への「こだわり」を表現
- 斬新な設定による業態認知の再獲得

■ コラボレーション企画による話題発信

- 新規顧客の来店機会創出
- エンターテイメント要素の拡充



■ スマホアプリの改修

- 顧客利便性の向上
- ポイント制度導入による顧客囲い込み



おかげさまで
100万
ダウンロード
突破！

※2018年3月1日現在



新たな体験価値の創造・提供

■ 食べ放題（平日14～17時）の実施

- 昨年6月に開始したトライアルで大反響
- 数度のトライアルを経て、本年2月より継続実施し、安定的に売上貢献

■ 1貫提供（一皿50円）・丼ぶりメニュー

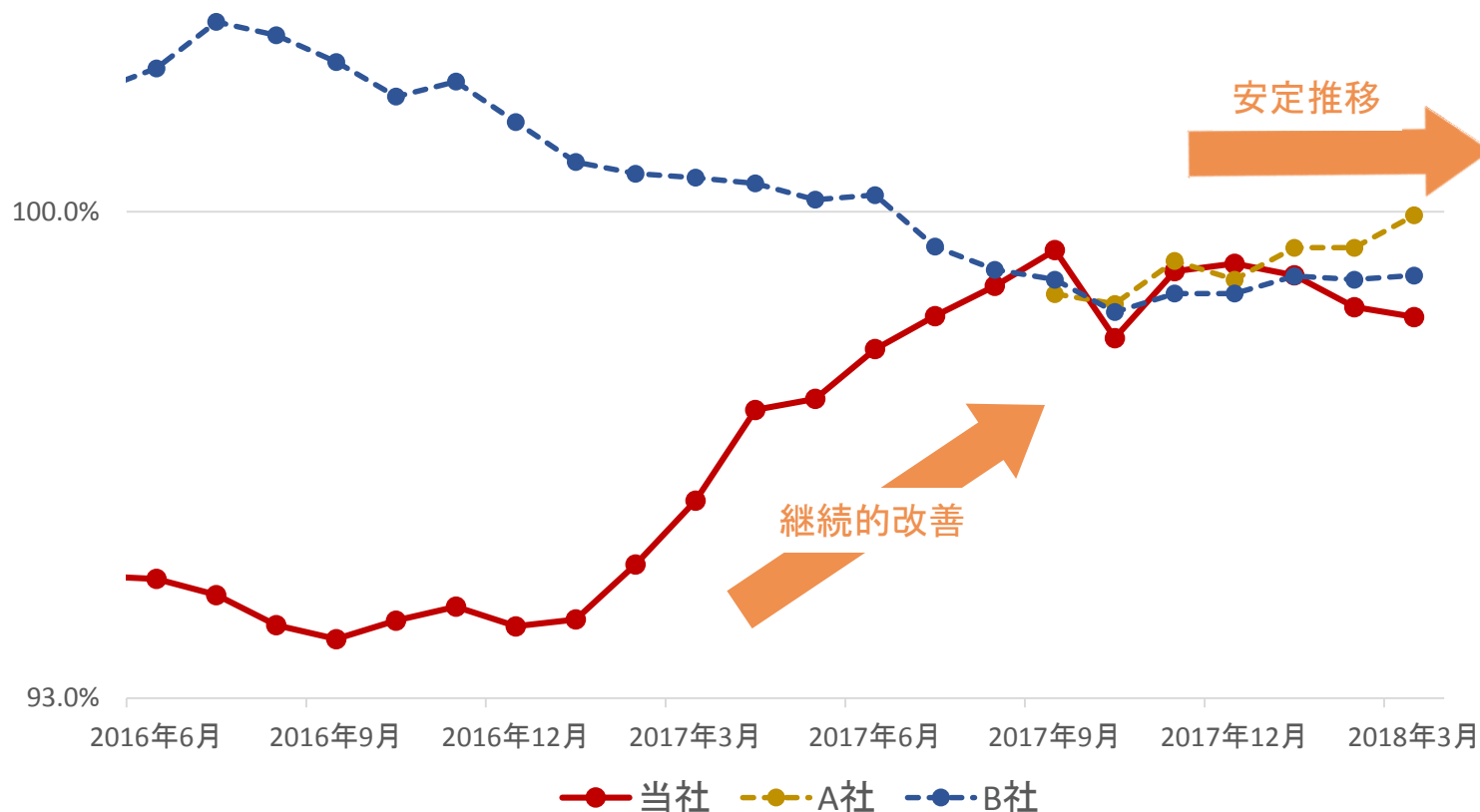
- 新たな食べ方の提案によるニーズ掘り起こし
- トライアル拡大を予定



売上高昨対比の回復

- 既存店昨対比は、17/3期後半以降、継続的に改善
- 18/3期は、アニサキス報道・天候不順等のマイナス要因があった中でも安定的に推移

12ヶ月移動平均 売上高昨対比



2018年3月期 連結業績

- 既存店を軸とした施策により、売上高は微減となるも安定的に推移
- オペレーション強化とムダ削減を通じて、大幅な収益改善を達成
- 2年ぶりに復配

(単位：百万円)

	2017年3月期	2018年3月期
売上高	79,422	78,728
営業利益	▲524	378
経常利益	▲349	516
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲5,807	810

902 ↑

865 ↑

6,617 ↑



2019年3月期における取り組み



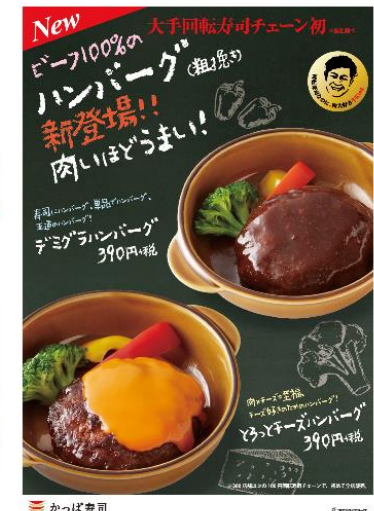
メニュー・商品改良の継続

■ 定番商品・フェアの更なる磨き込み

- フェア商品の定番化によるメニューの充実
- プロモーション活動・広告宣伝との連動性を高め、お客様への発信を強化

■ 新カテゴリー商品の投入・強化

- ハンバーグ販売数は想定を超えて好調に推移
- グループ調達力を活かした「肉」カテゴリーの強化



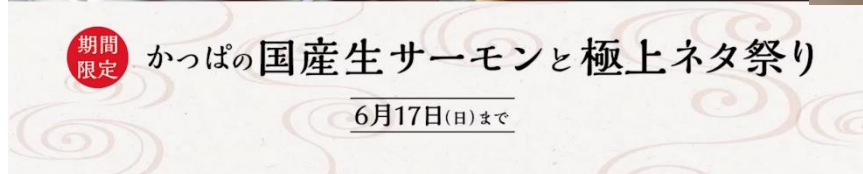
ブランドイメージの持続的育成

■ テレビCMの刷新

- 前期CMによるブランドイメージ向上を礎としつつ、回転寿司らしい「美味しさ」・「楽しさ」を表現することで、ブランドイメージの持続的育成を目指す

■ コラボレーション企画の多様化

- コラボレーション範囲・方法の拡充による来店機会・話題性の創出
- 地域に応じた限定コラボレーションの実施



大型改装による集客力の向上

- 改装から一定期間経過後も継続して売上伸長を観測
- 立地特性に応じた改装モデルによる投資の効率化



2019年3月期 連結業績予想

- 引き続き既存店を中心とした売上成長を軸としつつ、新規出店の再開により市場開拓を進める
- コスト管理の深化・適正化を継続し、収益基盤のベースアップを図る
- 省人化によるオペレーション効率向上の取り組みを加速

(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期
売上高	78,728	81,533
営業利益	378	1,631
経常利益	516	1,714
親会社株主に帰属する 当期純利益	810	798